

令和4年度（2022年度）事業報告書

本財団で行う研修及び研究

本財団は、設立以来専ら精神分析の研修、研究事業を実施することによりわが国の精神保健の向上のため努力し、成果を上げています。本年度もこれらの方針を継続し、下記事業を実施しました。医師等に対する精神分析および精神分析療法に関する研修事業として、通年セミナー17件（含ワークショップ3件、新規セミナー4件）、単発セミナー7件（含新規セミナー1件）、および出版・広報事業1件を実施しました。

I. 研修事業

1. 通年セミナー

(1) 小寺精神分析的セラピーケースセミナー（第3期）

一昨年から始まった精神分析的セラピーのケースセミナーです。主に週一回の成人の精神分析的セラピーのケースを、ある程度実績を持つ中堅のセラピストの方々にご提示願ひ、それに対してシニアの臨床家がコメントをし、フロアと討論しました。ファシリテーターは藤山直樹が務めました。いま現実にはどのような精神分析的なケースが日本で展開しているのかに触れながら、参加者の臨床実践や訓練に何らかの示唆やヒントを生むことができると考えました。ハイブリッド設定（現地開催とウェビナーの併用）で行ったので、COVID19 禍でも開催可能で、遠隔地の方々にとっては、ナマの実践的な討論に触れるよい機会になったと思います。なお守秘の点から、誓約書及び資格書類のご送付をお願いしました。

対 象：精神分析に関心があり、臨床実践を行っており、守秘義務を負っている方。

開催期間：2022年5月～2023年3月

第3土曜日原則、19：00～21：00、全10回

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター/Zoom Webinar ハイブリッド

参加費：50,000円

参加人数：112名

運営方法：毎回、症例提示をしていただき、シニアの先生方に討論をお願いしました。

司会は藤山直樹が担当

企画及び担当：藤山直樹

日 時	コメンテーター	症例提示者
5月21日	松木邦裕	山崎孝明
6月18日	岡田暁宜	堀江桂吾
7月16日	高野 晶	山口貴史
9月17日	鈴木智美	大塚由希
10月15日	吾妻 壮	小笠原貴史
11月19日	権 成鉉	福島 涉
12月17日	富樫公一	伊藤幸恵
1月21日	十川幸司	鈴木菜実子
2月18日	奥寺 崇	吉沢伸一
3月18日	北山 修	清水右子

(2) 体験グループセミナー (第28期)

目的：精神分析、力動的精神療法の方向付けを基本とした、グループダイナミックスの学習、自己理解の深化をワークショップ形式のグループ体験を通して得る機会の提供を目的とします。

対象：精神分析セミナー、精神分析的心理臨床セミナーならびにそれに相当するセミナーの受講者修了者ですでに精神療法の経験をもつ方を優先しました。

基本を2年コースと考えているので原則として2年目の参加者を優先しました。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2022年5月～2023年3月 月1回 第4金曜日原則、19:00～20:30、全10回
5/27、6/24、7/29、9/30、10/21、11/25、12/23、1/27、2/24、3/24

場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター (5月・6月・9月～3月)

7/29は、オンラインにて開催しました。

参加費：50,000円

参加人数：23名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(3) グループ理論研究セミナー (第27期)

目的：精神分析、力動的医学を基礎におく集団精神療法の臨床または指導者の養成を、理論的学習、とりわけ事例をめぐるスーパービジョンを通して達成することを目的とします。

対象：何らかの臨床グループあるいはトレーニング・グループなど、実際グループに参加した経験のある、守秘義務をもつ専門家で、ことに事例提供が可能な方を原則とします。

講師：鈴木純一・相田信男

開催期間：2022年5月～2023年3月、月1回 第2土曜日原則、14:00～17:00 全10回
5/14、6/4、7/16、9/10、10/8、11/12、12/10、1/14、2/18、3/24

開催場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンターとZoomによるハイブリッド開催 (5月～11月・1月～3月)

12/10のみZoomによるオンライン開催

参加費：60,000円

参加人数：36名

企画者：相田信男

担当委員：相田信男

(4) 力動的家族療法セミナー (第20期)

目的：講義の内容は、参加者のご意見を反映させ、毎年変更を加えています。今年も体験的学習として、ロールプレーによる実践的なセッションを対面で実施しました。

対象：個人精神療法に関する何らかの研修(セミナーあるいはスーパービジョンなど)を受けているか、受けたことのある方。大学院生も受講可。

講師：中村伸一・野末武義・渡辺俊之・岩井昌也・北島歩美

開催期間：2022年8月～2023年3月、月1回 第4土曜日原則、14:00～17:00 全8回
8/27、9/24、10/22、11/26、12/24、1/28、2/25、3/25

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム / Zoomによるオンライン

3/25 以外は、すべて ZOOM によるオンライン開催

参加費：36,000 円

参加人数：7 名

企画者：中村伸一

担当委員：中村伸一

(5) 小寺臨床講読セミナー

—現代クライン派の系統的理解（V期）—：2. クラインからクライン派へ

目的：系統的に論文講読に取り組む演習形式セミナー。メラニー・クラインは、現代の精神分析の重要な源泉の一つであり、優れた直観と観察に基づいて多くの独創的な見解を展開しました。しかし原著は、十分に背景を知らずに読んでも理解し難いことも事実です。第V期2年目の本年度は、第二次世界大戦後からクラインの死を超えて発展し続けたクライン派の流れを、主題ごとに取り上げました。引き続き、詳細な読解を提供しているミーラ・リカーマン『新釈メラニー・クライン』（岩崎学術出版社、2014）を並行して読みました。初めて触れる方にとっても改めて取り組む方にとっても、理解を深める機会となったことと思います。

対象：テキストを読んで毎回参加し、年に何回かレジュメ作成と発表ができる方

講師：福本 修・平井正三（5/13）

開催期間：2022年4月～2023年3月 月1回 第2金曜日、19：00～22：00、全12回
4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10

開催場所：Zoom によるオンライン開催

参加費：60,000 円

参加人数：19 名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

(6) 小寺臨床講読ワークショップ

—フロイトの系統的理解（VI期）—：2. 精神分析の完成と移行期（1910-1920）

目的：本ワークショップでは、参加時間の中でフロイト読解を体験し、精神分析の〈現場〉へと赴くことを目指しました。

2022年度は、完成期に入ったフロイトによるナルシシズム・精神病への新たな取り組みと、技法論文およびメタ心理学論文に含まれている興味深い概念を取り上げると同時に、臨場感ある現代論文を参照しました。3年間で全体をカバーする予定です。

対象：テキストを読んで毎回参加できる方。臨床経験の多寡は問いません。

講師：福本 修

開催期間：2022年4月～2023年3月 月1回 第3金曜日、19：00～22：00、全12回
4/15、5/20、6/17、7/15、8/19、9/16、10/21、11/18、12/16、1/20、2/17、3/17

開催場所：Zoom によるオンライン。

参加費：60,000 円

参加人数：17 名

企画者：福本 修

担当委員：福本 修

(7) 精神分析的な心理療法セミナー (第13回)

目 的：精神分析的な心理療法の事例検討会です。私たちの多くは、基本的には週一回の頻度を始めとする精神分析的ないしは精神力動的な心理療法の実践に取り組んでいます。その中で日々経験している難しさや限界、臨床的な成果、さらには精神分析的に考えることの大切さと手応えなどを皆で確認し、共有したいという目的でこのセミナーを企画し、実行しました。

対 象：中堅以上の心理療法家で、十分な臨床経験と研修歴をお持ちの方。

講 師：中村留貴子、深津千賀子、岡田暁宜、岩倉拓、小尻与志乃、妙木浩之、北村麻紀子

コーディネーター：菊池恭子、北村麻紀子、小尻与志乃

開催期間：2022年5月～2023年2月 第1金曜日原則、19:30～21:30 全11回

5/6、6/3、7/1、8/11(二コマ)、10/7、11/4、12/2、1/9(二コマ)、2/3

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム

参加費：60,000円

参加人数：13名

企画者：中村留貴子

担当委員：岡野憲一郎

(8) 組織で働くための精神分析 - そこでは生き延び貢献する術として - (新規)

目 的：多くの臨床家が何らかの組織(医療、教育、福祉、司法など)に所属し、その中で臨床家として業務を行いながら、組織の一員として組織との間でさまざまな困難を体験しておられると思います。精神分析は、そんな臨床家が組織の中で生き抜き、同時に組織に貢献するために有効なツールになると考えますし、すでに実践しておられる方もいらっしゃると思います。そうした実践を持ち寄り、議論することを通して、参加者が組織で働くための精神分析について体験的に学ぶことを目指しました。

参加にあたっては必ずしも精神分析の知識は必要としません。

対 象：医師、公認心理師、臨床心理士、精神保健福祉士をはじめとする、「組織で働くための精神分析」に興味をもっておられる、守秘義務のある臨床家の方々

講 師：白波瀬丈一郎(精神科医：東京済生会中央病院)、三浦有紀(公認心理師・臨床心理士：東京済生会中央病院)

ゲストスピーカー：岡田暁宜(慶應義塾大学)、荻野達史(静岡大学)、秋田悠希(横浜少年鑑別所)

日 程：2022年4月～2022年11月 月1回 第2日曜日 全7回 13:30～16:30

4/10、5/8、6/12、7/17、9/11、10/9、11/13

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド開催

参加費：35,000円

参加人数：25名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

(9) 臨床家のための、産業メンタルヘルス実践セミナー アドバンストコース (第5回)

目的：このセミナーは、産業メンタルヘルス領域で働くための実践能力の養成を目的とします。アドバンストコースは、ベーシックコース修了者を対象としたコースで、事例検討を通して、産業メンタルヘルスの考え方や関わり方を学びました。

事例検討は、精神分析的および精神力動的な考え方に基づいたメンタルヘルス支援プログラム（KEAP：キープ KEIO Employee Assistance Program）の実践活動で得られた知見に基づいて行います。しかし、検討対象とするのは産業領域に限定しません。日々の臨床実践や現場で困っていることについても積極的に議論しました。

対象：2020年度までの「臨床家のための、産業メンタルヘルスセミナー」、「臨床家のための産業メンタルヘルス実践セミナー」修了者

講師：白波瀬丈一郎（精神科医：東京済生会中央病院）、三浦有紀（公認心理師・臨床心理士：東京済生会中央病院）

開催日時：2022年4月から2023年2月 月1回 第2日曜日 全10回 10:00～12:00
4/10、5/8、6/12、7/17、9/11、10/9、11/13、12/11、1/8、2/12

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド開催

参加費：30,000円

参加人数：9名

企画者：白波瀬丈一郎

担当委員：白波瀬丈一郎

(10) 精神分析志塾 (第7回)

目的：開講7年目となりました。志ある中堅臨床家たちの達成をめざし、限定メンバーによるクローズド・ワークショップの形態をとり、精神分析や精神分析的な精神療法/心理療法での力量向上とともに、分析的経験から濃く学び、創造力を高めることを目指しました。

対象：中堅臨床家（臨床経験7年以上【院生修士時代を除く】、精神分析学会一般演題の発表経験を有す）

講師：松木邦裕

開催期間：2022年4月～2023年3月 月1回 全11回 原則第1日曜日
4/3、5/8、6/5、7/3、8/7、9/4、10/2、11/6、1/8、2/5、3/5
10:30～15:50（休憩時間を含む）

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム（4月・6月・7月・9～11月・2月・3月）
5月、1月はTKP市ヶ谷カンファレンスセンター
8月はZoomによるオンラインと会場（小寺記念精神分析研究財団セミナールーム）のハイブリッド開催

参加費：77,000円

参加人数：19名

企画者：松木邦裕

担当委員：奥寺 崇

(1 1) 子どもの心の発達セミナー (第7回)

「精神分析的心理療法から見えてくる発達障がいをもつ児童青年のこころ」

目的：児童青年、そして人のこころについて探索し、考え続けておられるお二人の臨床家のご講義、そして事例検討を通して、精神分析的心理療法から見えてくる発達障がいをもつ児童青年のこころ、精神分析的心理療法についてあらためて一緒に考えていく機会を持ちました。

対象：医療、福祉、教育、司法領域で児童青年に関わっている専門家、近接領域の専門家、大学院生、事例の守秘を厳守できる方。

講師：飛谷渉・平井正三

司会：脇谷順子

開催日時：1回目 9月25日(日) 13:00~17:00

2回目 11月23日(水・祝) 13:00~17:00 2回参加希望の方を優先

開催場所：小寺財団セミナールーム および Zoom によるハイブリッド開催

参加費：12,000円(1回のみ参加 7,000円)

参加人数：9/25：20名、11/23：29名

企画者：脇谷順子

担当委員：脇谷順子

(1 2) 乳幼児観察セミナー (第7回)

目的：今年度は、乳幼児観察の臨床的応用として、乳幼児観察の経験によって治療者の技量への寄与、ワークディスカッションにおける討論の面白さ、さらに組織への新たな視点を提供するという、興味深いテーマについて論じました。乳幼児観察は奥深く、臨床家に多大な貢献を為すことが知られていますが、さらに乳幼児観察の重要性を再確認したと思います。また、本セミナーは我が国で行われている乳幼児観察に関する研究会の中心となるようなフィールドとなることを目論んでいます。

対象：乳幼児観察の終了者、乳幼児観察に関心を持つ人であれば、職種は問いません。

講師：田中健夫・松本拓真

司会：鈴木 龍・脇谷順子

討論者：木部則雄・鈴木 龍

開催日時：2022年9月19日(月・祝) 13:00~17:00

2023年2月12日(日) 13:00~17:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム および Zoom によるハイブリッド開催

参加費：12,000円

参加人数：22名

企画者：木部則雄

担当委員：木部則雄

(1 3) 英国独立学派の講読セミナー (第4回)

目的：4年目となる本年度はウィニコット以降、ボラス、パーソンズといった現代にいたる臨床家までの論文を取り上げ多層的な理解を深めた。

各回文献を配布し、予め割り振った担当者がテキストのレジюмеを作成しそのプレゼン

テーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートします。

開催日時：2022年5月以降 原則第4日曜日 全10回 10:30~13:00

5/22、6/26、7/24、8/28、9/25、10/23、11/27、1/22、2/26、3/26

開催場所：クリニックおくでら（小田急小田原線 経堂駅 徒歩5分）

講師：奥寺 崇

対象：フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・講読セミナーの受講経験がある専門家

参加費：40,000円

参加人数：7名

企画者：奥寺 崇

担当委員：奥寺 崇

（14）力動的理解にもとづくロールシャッハ解釈（第2回）

目的：本セミナーでは、小此木、馬場による解釈技法を足がかりにしながら、ロールシャッハ事例を紐解いていきます。初回は講師による講義と事例解説を行い、2回目以降は、毎回、事例提供者のプレゼンテーションに対して、講師2名が見立てと理解を示しました。事例提供者を交えた3名の討論に、セミナー参加者が加わることで、多面的な事例解釈が展開されました。

開催日時：2022年5月29日、6月26日、7月24日、8月28日、10月23日、11月20日
（すべて日曜日） 全6回 13:30~16:45

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびZoomによるハイブリッド開催

講師：吉村聡・北村麻紀子・人見健太郎

対象：ロールシャッハ法の基本を取得している方（経験年数は問わない）

参加費：36,000円

参加人数：35名

企画者：吉村聡

担当委員：吉村聡

（15）フランスの精神分析（『精神分析・精神病理の臨床研究』第一期）（新規）

目的：フロイト理論の根底には、精神病理学的（メタサイコロジー的）思考があります。精神疾患の正確な把握なくして、精神分析臨床で起きている事柄を的確に把握し、介入することは難しいです。このような認識を正当に継承し、精神分析の臨床を展開してきたのは、フランスの精神分析でしょう。しかしフランスの精神分析は、日本の臨床家のあいだに生きたものとして浸透していないどころか、その存在さえ知られていません。その思考と臨床のスタイルを導入するのがこのセミナーの目的です。

対象：臨床に携わり、毎回指定された文献を精読したうえ、参加できる人

講師：十川幸司

開催日時：2022年5月~2023年3月まで月1回、第2日曜日 全9回（7月、11月休み）

5/8、6/5、8/14、9/11、10/9、12/11、1/8、2/12、3/12 13:30~16:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム及び第2セミナールーム

参加費：30,000円

参加人数：8名

企画者：十川幸司

担当委員：十川幸司

(16) ウィニコット『子どもの治療相談』を読む (新規)

目的：ウィニコットが最晩年に到達した方法論 Therapeutic Consultation について邦訳されている本『子どもの治療相談』を通して読む、という講読セミナーで、毎回一つから二つの事例を『子どもの治療相談』から取り上げて、事例のやり取りを詳細に議論していくという形で進めました。

対象：各自「子どもの治療相談」(岩崎学術出版)、そしてサブテキストとして「ピグル」(金剛出版)を購入

司会(ファシリテーター)：妙木浩之

開催日時：2022年6月～2023年3月まで月1回 第1月曜日、全8回 (8月、1月休み)
6/6、7/4、9/5、10/3、11/7、12/5、2/6、3/6

19:00～21:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびオンラインのハイブリッド開催

参加費：24,000円

参加人数：19名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

(17) ブッシュ『精神分析マインドの創造』を読む (新規)

目的：現代の自我心理学を代表するフレッド・ブッシュの本『精神分析マインドの創造』が邦訳されました。ブッシュはこれまで、国際精神分析協会のなかで、数少ない自我心理学の論客として活躍してきましたし、現代的な発展を論考にしてきた分析家です。本セミナーではこの本の講読および講義を、翻訳者であり、ブッシュと交流しながら本書を訳した鳥越淳一氏に行ってもらいました。

対象：各自フレッド・ブッシュ『精神分析マインドの創造』(金剛出版)を用意

講師：鳥越淳一

司会・進行：妙木浩之

開催日時：2022年5月～2023年2月まで月1回 第2土曜日、全6回
5/14、8/13、9/10、10/8、11/12、2/11

19:00～21:00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびオンラインのハイブリッド開催

参加費：25,000円

参加人数：11名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

2. 単発セミナー

(1) 精神分析—医学生・研修医セミナー（第15回）

目 的：臨床医をめざす医学生・研修医に、人間の心を深く見つめる精神分析の世界について、充実した内容をコンパクトに解説しました。

開催日時：2022年10月10日（月・祝）9：30～18：00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびオンラインのハイブリッド開催

講 師：相田信男・藤山直樹・白波瀬丈一郎・高野晶・池田暁史・藤内栄太

対 象：医学生、および研修医・専攻医、（初期/後期研修医、医学部5・6年生を優先）

内 容：レクチャー

参加費：医学生6,000円、研修医8,000円

参加人数：11名（医学生：4名 研修医・医師：7名）会場5名、オンライン6名

企画者：池田暁史

担当委員：池田暁史

(2) 関係性精神療法セミナー(第12回)

「治療者の脆弱性 ～トラウマ、ライフイベント、ナルシシズム～」

目 的：2022年は、重要であるが普段あまり省みられることの少ないテーマである、治療者の脆弱性について、トラウマ、ライフイベント、ナルシシズムなどの観点から論じました。患者の脆弱性のみならず、治療者の脆弱性についても検討することは、精神分析における相互性を考えるならば、避けて通ることはできない要所です。この新しくも古いテーマについて十分に考えることは、初学者にとっても、臨床経験豊かな治療者にとっても、治療者としての自分を振り返る上で役立つことと思います。

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

開催日時：2022年7月3日（日）10：00～15：00

開催場所：Zoomによるオンライン開催

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

発表者：富樫 公一（甲南大学）、吾妻 壮（上智大学）、岡野憲一郎（京都大学）

指定討論：長川歩美（A&C 中之島心理オフィス）

司 会：岡野憲一郎・吾妻壮

参加費：5,000円

参加人数：54名

企画者：岡野憲一郎

担当委員：岡野憲一郎

(3) 学際的ワークショップ「精神分析の知のリンクにむけて」（第7回）

『21世紀のエディプス—われわれはまだこの概念を必要とするのか？—』

目 的：第7回のワークショップは、21世紀の人間の心的基盤は、今もなおエディプスのだろうか、を討議のテーマとしました。

本ワークショップでは、「心的インフラ」という斬新なアイデアを展開している飛谷渉氏、「女性論におけるエディプス」を現代的な視点で再考している西見奈子氏、「ラカンにおけるエディプスと性別化」を構想中の原和之氏をお招きして、21世紀のエディプスについて討論しました。

司会は当ワークショップのコーディネーター藤山直樹、ならびに企画者である十川幸司が担当しました。

開催日時：2022年10月2日（日）13：00～17：00

開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターおよびZoom ウェビナーのハイブリッド開催

対 象：精神分析に関心をもつ方はどなたでも参加できます。

発 表 者：(導入) 十川幸司「エディプスの彷徨」

：飛谷渉（大阪教育大学）

：西見奈子（京都大学）

：原和之（東京大学）

司会、討論者：藤山直樹（個人開業）、十川幸司（個人開業）

参 加 費：3,000 円

参加人数：67 名

企 画 者：十川幸司

担当委員：十川幸司

(4) 『タヴィストックセミナー』（第11回）

「自己構造の病理 - クライン派の歴史的発展」

—タヴィストック・クリニック成人部門の経験から—

目 的：タヴィストック・クリニック成人部門でのトレーニングと臨床の歴史と現況についてご紹介しつつ、衣笠隆幸先生によるご講義と事例検討（2019年に同部門から帰国された橋本貴裕先生ご提示）を行いました。

開催日時：2022年12月25日（日）13：00～17：00

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールーム/Zoomによるハイブリッド開催

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方（臨床経験の多寡は問いません）

講 師：衣笠隆幸（広島精神分析医療クリニック）

事例提示：橋本貴裕（帝京大学心理臨床センター）

司 会：福本 修

討 論：木部則雄

参 加 費：6,000 円

参加人数：44 名

企 画 者：福本 修

担当委員：福本 修

(5) 力動的心身症臨床セミナー（第2回）

目 的：2021年度には「力動心身医学セミナー」を20年ぶりに復活する形で「力動的心身臨床セミナー」（入門編）を開催し、力動的心身症臨床の現代的な地図を得ることができました。その経験を踏まえて、2022年度は、第2回として「身体から心へ」というテーマで、患者の心身的な症状や問題が心理的な理解や体験へと移行する過程や技法について焦点を当てました。

対 象：心身症臨床に関心があり、臨床経験を有する方。

講 師：矢吹弘子・原田眞理

司 会：加茂聡子

討 論 者：高野 晶・岡田暁宜

開催日時：2022年9月23日（金・祝）13：00～16：30

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびオンラインのハイブリッド開催

参加費：5,000円

参加人数：36名

企画者：岡田暁宜

担当委員：岡田暁宜

(6) 初回面接入門：力動フォーミュレーションとビデオ録画（第3回）

目 的：ビデオによる面接の研究および訓練のためのディスカッション、そして並行して見立てのための力動フォーミュレーションの訓練を行ってきた先生方を中心に、午前午後にわたって、それら二つを組み合わせ、単発のセミナーを行いました。見立てをたてながら面接をどう組み立てていくのか、あるいは逆に面接の中で分かることはケースの見立てにどのような影響を及ぼすのか、などを議論して、最後に面接のやりとりとケース概要からわかることを立体的に組み合わせる試みを行いました。

対 象：精神分析的な心理療法家を目指す臨床家の方々

開催日時：2023年2月23日（木・祝）10：00～16：30

開催場所：小寺記念精神分析研究財団セミナールームおよびオンラインのハイブリッド開催

講 師：妙木浩之、野村真睦、小林陵

司会・進行：加茂聡子

参加費：8,000円

参加人数：30名

企画者：妙木浩之

担当委員：妙木浩之

(7) 講演「Gender fluidity and Psychoanalytic Practices」と討論（新規）

目 的：フェミニズムやジェンダー論が精神分析に与えた影響について、現在の米国精神分析におけるこの分野の第一人者である Adrienne Harris 博士をお招きして、ご講演いただきました。米国をはじめ欧米の精神分析の発展は、歴史的に見てもフェミニズムやジェンダー論を抜きにしては語ることはできません。しかし、残念なことに、わが国では歴史的背景から現在の状況について、十分に知られているとは言えません。この講演と討論では、こうした背景に詳しくない日本の臨床家の方にもわかりやすく、そして、こうした問題意識を共有する臨床家とも議論を深められる機会になればと考えました。

開催日時：2023年1月9日（月・祝）9：00～15：30

開催場所：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンターおよびオンラインのハイブリッド開催

講 師：Adrienne Harris, Ph.D. (NYU)

総合司会：奥寺 崇

講演通訳：葛西真記子・富樫公一

参加費：8,000円

対 象：精神分析に興味があり、臨床実践を行っている方

参加人数：55名

企画者：奥寺 崇

担当委員：奥寺 崇

II. 出版・広報事業

ホームページの充実、名簿の整理及び今後のメールによる情報発信の準備
財団が過去に行ったセミナーの内容をもとにした出版の構想、など。

担 当：岡野憲一郎